

学校評価アンケート結果報告

令和4年5月
中越高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けています。教育の環境整備と質的向上、教育成果の向上のために様々な取り組みを重ねて参りました。その成果を確認するとともに、さらなる改善に向けた課題形成を図る機会として、令和2年度末より保護者による学校評価アンケートを実施しております。集計結果に分析を加えて、学校改革・教育改善の進捗をお伝えすべく本書面に報告をまとめましたのでご高覧のうえ、ご意見等を頂戴できれば幸甚です。

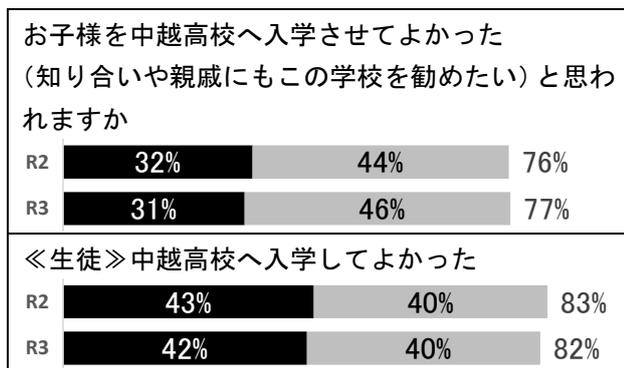
学校長 萩野俊哉

凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う □ どちらかと言えばそう思う
グラフ中の数値は小数点以下を四捨五入しているため、表示が一致しないことがあります。一部、令和3年10月に実施した生徒アンケートにおいて得られた回答結果も掲載しています。今後も情報発信の充実を図り、教育意図の説明をはっきり行うことで、皆様から明確なご判断を仰げるように努めて参ります。

変化に対応し得る能力・資質の原資となる確かな学力の育成を通し、生徒・保護者・地域の期待と要望にしっかり応えていきたいと思っております。これまで以上の信頼と満足が得られるよう、学校が目指す教育の在り方、指導の実態、生徒の成長と活躍の様子などの発信にも一層の力を入れていく所存です。

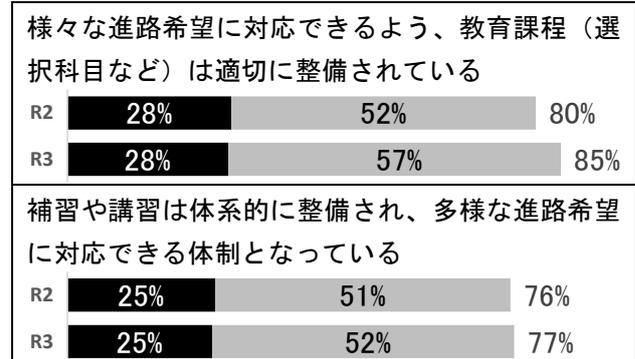
3/4以上が「入学させてよかった」



「中越高校に入学させてよかったか」という質問で総合的な満足度をお尋ねしています。前回同様、保護者・生徒とも4分の3以上の皆様から肯定的な回答をいただくことができました。もっとも、「どちらかと言えば」という但し書き付きのものがまだ多いので、次回以降はより多くの保護者の皆様に迷いなく「そう思う」を選んでいただけるよう、学校を挙げて教育活動の更なる改善を図ってまいります。

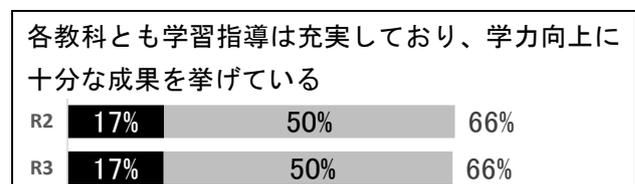
データを詳細に分析した結果、総合的な満足をもたらす主要因は「保護者の要望への誠実な対応」「学力向上(学習指導)」「進路希望の発見と実現(進路指導)」などにあることがわかりました。生徒の回答を得た同様のアンケートでも、満足度を最も大きく左右するのは「授業を通じた学力向上感」です。社会の

教育課程

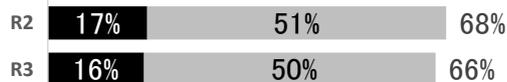


教育課程に関しては、前回より多くの肯定回答を頂戴することができましたが、増えたのは但し書き付きの肯定です。特に今年度の入学生からは、キャリアへの視点を重視する新しい教育課程に変わります。次回以降、但し書きのない肯定を選んでいただけるよう多様な進路選択に対応できる教育課程の充実に努めて参ります。

学習指導



子どもたちのやる気が引き出され、学習活動に前向きに取り組んでいる



学習指導については、否定回答は減ったものの回答留保が増え、積極的な肯定回答は16～17%とまだまだ厳しい評価が続いております。また、4ページ左のとおり多くの保護者が「学習指導・学力向上」をこれまで以上に学校に求めておられますので、更なる学習指導の充実に学校全体として力を入れていきます。

なお、生徒による授業評価アンケートにおいて、「授業を受けて学力や技能の向上を実感できたか」という質問に対する肯定的な回答が9割以上に達する教員の割合が、教壇系で78%（前年67%）、実技系で94%（同83%）に増えていることから授業改善への取り組みは一定の成果を得ているかと思われまますので、学力の伸長や生徒の成長の様子を保護者の皆様にはしっかりお伝えできるよう努力する所存です。

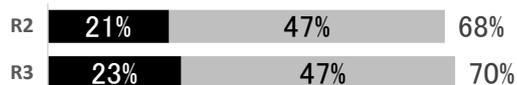
〈生徒〉自分で立てた計画に沿って学習を進められるようになった／なってきた



上述の通り、生徒アンケートによると、積極的な肯定回答が23%→28%と増え、学習習慣が徐々に身に付いてきた様子がうかがえますが、否定的な回答も3割以上ありますので、生徒のやる気を引き出し、主体的に学習できるように今後も丁寧に働きかけて参ります。

進路指導、生徒指導

進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に役立っている



進路指導については、前回とほぼ同じ評価となりました。近年の大学入試は選抜方法も多様化しているため、本校では3年間を見通した計画的な進路指

導に取り組んでいます。1年生の保護者を中心に「わからない」の割合が高く、指導の展望と成果をご家庭と共有する必要性を感じております。今後は、教科学習や進路・キャリア教育の活動を一体で進めている指導の様子を、適切な広報を通じてご家庭からも「見える」ものにしていきたいと考えております。

生徒指導は充実しており、規範意識と自律性の育成に成果を挙げている



学校・担任は、個々の生徒の性格や諸事情に配慮した指導の実現に向けて努力している



前回に引き続き、一般的な生徒指導、個別対応ともに一定の評価をいただけたものと考えております。生活に関わる指導は人格形成の枢要であると考えて、特に重視して取り組んでいる事項でもあります。今後も、心に触れる生徒指導を心がけて参ります。

部活動、学校行事

学習と部活動の両立について配慮がなされ、バランスの取れた部活指導が行われている

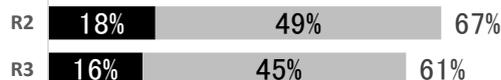


部活に参加していない場合は「わからない」と回答されると思われるため、「わからない」を除く有効回答を分母に表示しています。

本質問での否定的な回答は、部活の比重が大きくなり学習面への心配が反映されていると考えております。部活動の顧問の指導について生徒に質問しても、9割以上の生徒が顧問は熱心であると回答していることから、学習が疎かにならないように特に意識しなければなりません。

部活動と補習・特別指導などの学習との時間的競合がないようにするなど、学校としても部活動と学習が両立できるような環境を整備いたします。

学校行事が充実するとともに様々な工夫の跡が見られ、教育的な配慮が強く感じられる



《生徒》学校行事が充実しており、行事のあり方について学校は様々な工夫や努力をしている

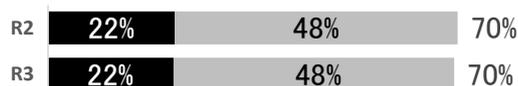


学校行事については前回から最も評価を落とした項目です。新型コロナの影響により様々な制限があったのは前回も同じでありながら評価を落としてしまった原因について考えると、①中止や内容変更といった決断をするまでの期間や決断時期、②説明方法や内容、などに改善の余地があるように思います。

完全な収束については予断を許さない面がありますが、今後も状況に応じての工夫をし、教育的な効果や生徒自身の満足を達成できるよう努めて参ります。

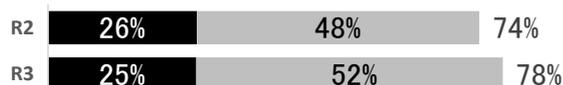
安全管理、情報発信

生徒を犯罪や事故から守るための安全教育の充実が図られ、学校としての危機管理も十分機能している



前回と同様に概ね良好な結果となりましたが、登下校時の交通安全指導、災害への備え、新型コロナ対策など、今後も生徒の自覚を促しつつ、学校としても万全の態勢をとるよう努力して参ります。

保護者面談や学年 PTA は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している



新型コロナの影響により実施が難しい面もありますが、保護者面談や学年 PTA については、学校からの伝達に限らず、お子様の様子や保護者の皆様のご意見を承るための大事な場と位置づけています。今後も内容の充実尽くしてまいりますのでご協力の

ほどよろしくお願ひ申し上げます。

学校のホームページは充実しており、最新の情報や必要な情報を得ることができる



ホームページについては、前回厳しい評価を頂戴しましたが、今回は生徒の学習や学校行事をより詳しく、また更新頻度を上げて内容の充実に向けた結果、否定的な評価を減らすことができました。もっとも、肯定的な評価は微増ですから、今後もホームページを有効に活用し、必要とされる情報をしっかりお届けできる広報を心掛けていきます。

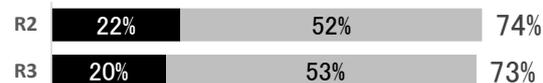
適切で一貫した対応

保護者や地域の要望・意見に対して、遅滞なくかつ適切な対応や回答がなされている



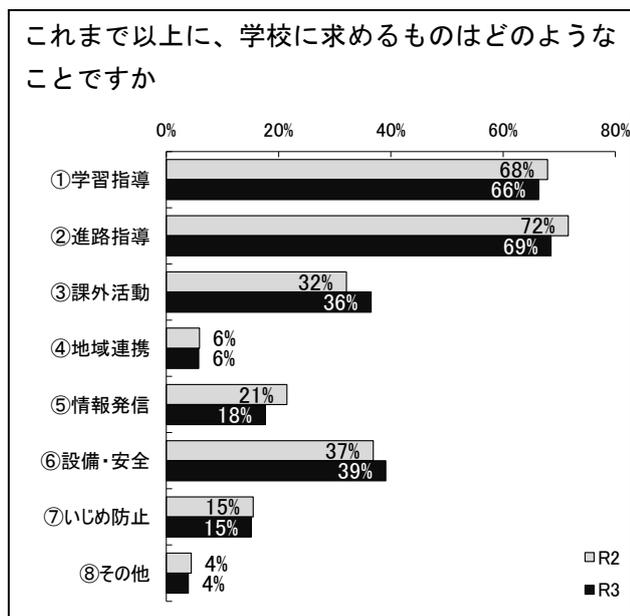
本質問は、実際にご相談されたことのない方は「わからない」と回答されると思われまので、「わからない」を除く有効回答を分母として表示しています。肯定的な評価が大半を占めましたが、「そう思う」は4分の1程度ですから更なる改善を図ってまいります。このアンケートの結果を踏まえた教育活動の改善を着実に重ねることも、要望・意見に真摯に応えることの一つと考えます。

教員はチームワークが取れており、どの教員に相談しても一貫した対応が期待できる

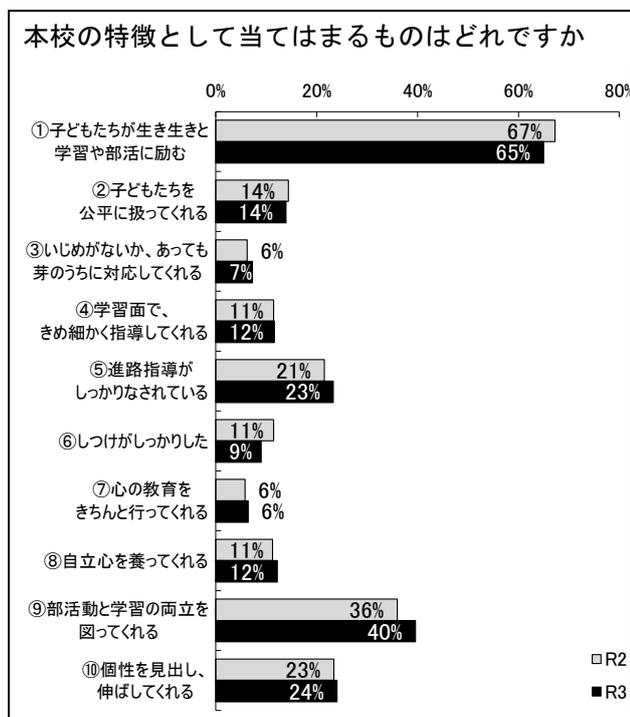


本質問も「わからない」を除く有効回答を分母として表示しています。4分の1程度の保護者の方よりご批判があったことから、これまでに不満な対応があったものと受け止めております。この結果を踏まえ、教職員間の連絡態勢も整えたうえで、検証を経て、貴重なご意見、ご要望への迅速、誠実な対応を心掛けて参ります。

学校のイメージと改善課題



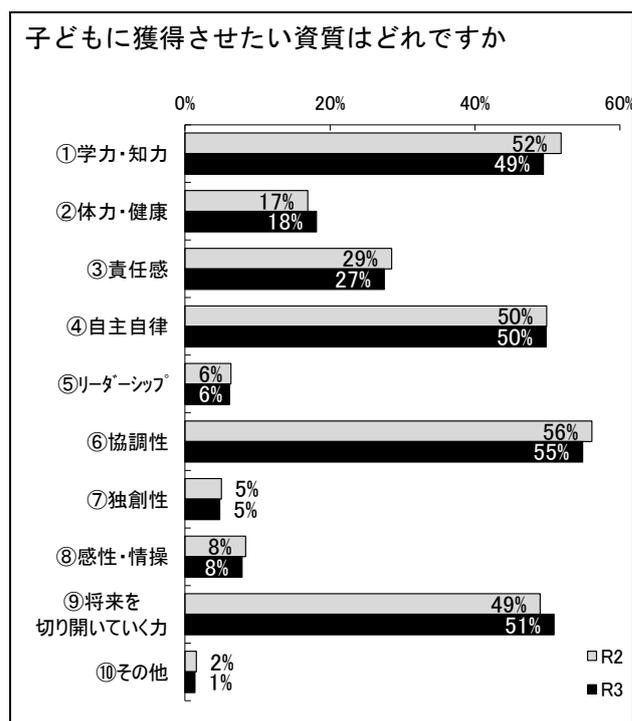
前回同様「①学習指導・学力向上」と「②進路指導・就職支援」について、多く選択されています。早期（1年生の4月）の進路ガイダンスや、特にニーズの高い領域（医療看護など）に絞ったガイダンスなど、様々な工夫を試みておりますが、今後ご期待に応えるべく更なる改善に取り組んで参ります。



本校の特徴については、前回に引き続き「子どもたちが生き生きと学習や部活に励む学校」が最も多く

選択されました。2位は「部活動と学習の両立を図ってくれる学校」であり、36%→40%と前回より高い選択率となりました。一方、更なる充実が求められる学習指導(④)や進路指導(⑤)については、まだまだ選択率は低くなっています。これらの期待にも引き続きしっかりと応えていきます。

子どもに獲得させたい資質



子どもに獲得させたい資質は、前回と同じ4項目が上位を占めましたが、「①学力・知力」はやや減り、「⑨将来を切り開いていく力」はやや増えました。

先行きの不透明な時代でも、確かな学力を土台として進取の精神で生きていく力を養えるよう教育リソースの最適配分を図ってまいります。

本年度も学校評価アンケートを実施予定です。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

中越高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:0258-24-0203 FAX:0258-24-0205

学校評価アンケート担当： 教頭 後藤 暁